平成31年度　芹田地区住民自治協議会定期総会を開催

芹田地区住民自治協議会３１年度定期総会が、４月２５日（木）役員・評議員・来賓他８０名が出席し、芹田支所において開催されました。全員で「はばたけ芹田」を斉唱し、堀会長の挨拶、来賓の祝辞をいただいた後、議事に入りました。

３０年度の事業報告・決算報告、３１年度の事業計画・予算案、加えて会則の一部改正、長野市立芹田公民館関連議案等８議案についての提案説明を行い、満場一致で承認されました。続いて、退任役員への感謝状の贈呈、新任役員の紹介を行い、無事閉会となりました。

堀会長あいさつ

平成３０年度も芹田地区の住民自治の向上と、安心・安全で住みよい環境作り、そして地域福祉や文化の向上を目指して、各諸団体の役員の皆様と、共に活動して参りました。

各事業におきましても、芹田ガイドマップの全戸配布とその活用を始め、当初事業計画通りに行うことができました。

事務面においても、スマートフォンや携帯電話を活用した事務連絡等のネットワークの構築や、若い人や多忙な人にも身近に感じてもらえるよう、芹田公民館と共同でホームページも立ち上げました。

あっという間の一年間のような気がしておりますが、これもひとえに皆様のご理解・ご協力のおかげと深く感謝をしております。本年度は芹田地区住民自治協議会発足から１０周年が過ぎ、また新たな「令和」という新時代を迎え、心を新たにして一層の住民自治の向上に努めてまいる所存です。

特に昨年は全国的に災害が多く、しかも予期しない地域で発生いたしました。当芹田地区におきましても、小規模な火事・水害等はあっても、大きな自然災害等は多分ないだろうと思っておられる方がほとんどだと思います。しかし実際には１７０年前の善光寺地震や、過去の大きな台風により、甚大な水害等を当地区は受けております。各区に自主防災会はありますが、現在高齢化世帯や一人住まい世帯の増加と、近所付き合い等が薄れる中、改めて自然災害等、広域にわたる災害に対しての防災・減災体制の構築を図って参りたいと思います。

それとご承知のとおり、地域の担い手不足・役員のなり手がない等の対応策と、長寿化時代にあっての健康維持、介護予防等、家事援助を含めた地域福祉体制の充実に、市の理解と協力を得まして推進して参ります。

その他、指定管理となっております芹田公民館は、現在建て替え中ですが、この６月末には「芹田総合市民センター」として竣工いたします。７月上旬にはこのセンターに新芹田公民館が開館いたします。芹田支所と住民自治協議会は、旧公民館の取り壊しや駐車場等の外構工事が終了する１２月にこのセンターに移転することとしております。

本年度より、地元日詰区からの推薦を受け、芹田地区にお住いの参議院議員杉尾秀哉様に芹田地区住民自治協議会相談役に就任していただきました。新しい視線でご指導いただければと思っております。

時代や社会の変化の中で課題は生じてまいりますが、役員一同、芹田地区のため、住民のため、あってよかった住民自治協議会を目指して参りたいと存じます。今後とも一層のご指導・ご協力をお願い申しあげます。